

## 「明日から来なくていい」

— あの日、泣きながら抵抗した生徒の話 —

今回は、ある生徒の変化についてお話しします。塾を続けるかどうかの瀬戸際に立たされた生徒が、そこから大きく変わった実話です。

### ■ 入塾当初の様子

その生徒は中1の4月に入塾してきました。明るくて人懐っこい性格でしたが、とにかく「ちゃらんぼらん」。友達のおしゃべりが大好きで、授業中もふとした瞬間にすぐ隣の子と話し始めてしまう。最初は小声でも、だんだんエスカレートして、授業の妨げになることもしばしばでした。

何度も注意しました。時には厳しく言ったこともあります。その場では「すみません」と反省するのですが、数日経つとまた元通り。この繰り返しでした。

### ■ 「明日から来なくていいから」

ある日、私は授業後にその生徒を呼びました。そして、こう伝えました。「明日から来なくていいから」。私が「来なくていい」と言う時は、本気です。生徒は泣きながら謝ってきました。長々と反省を述べていました。しかし、私は「もう無理だから、家の人と相談して決めて」とだけ言って帰らせました。

### ■ 次の授業日

ところが、次の授業日。その生徒は通常通り塾に顔を出してきました。「これからは心を入れ替えてしっかり勉強します」と。今回だけは大目に見ることにしました。ただし、「次に何かあったら即やめてもらう」という約束で。

正直、「その場しのぎだろう」と思っていました。しかし、その予想は良い意味で裏切られました。その日を境に、本当に別人のように勉強するようになったのです。

### ■ 急上昇

入塾当初、学校のテストは300~350点程度。それが、中2の最初には400点を超えるようになり、中3になる頃には450点を超えるまでになりました。中2の途中からは、知り合いの生徒と一緒に毎日自習に来るようにもなっていました。最終的に、その生徒は熊谷西高校の理数科に進学しました。当時は倍率がものすごく高かった学科です。高校生になっても塾に通い続け、大学生になってからは講師として働いてくれました。

### ■ 後日談

後になって、その生徒が話してくれました。「あの時、何のために塾に来ているのか、何のための勉強なのか、そして何がいけなかったのかを話してもらえたのが大きかった」と。あの時やめていたら、この生徒はどうなっていたでしょうか。やめずに、必死に「通い続けたい」と抵抗してくれたこと。それが、この生徒の人生を変えたのかもしれない。

どんな生徒でも、「自分からやろう」と思えた瞬間から変わります。  
そして、その変化は驚くほど早く結果に表れます。

### ■ 2月のお知らせ

- ・2月3日（火）より保護者面談を開始します（~2/21）。ご協力をお願いいたします。
- ・中1・2年生は期末テスト対策を実施します。日程は別途ご案内いたします。
- ・中3生は2月24日（火）が最終授業となります。
- ・2月26日（木）・27日（金）は公立高校入試です。